作物名

（ 2021 ）年 度 委 託　　（　チャ　）

対 象 病 害 虫 名 ・ 学 名　輪斑病　*Pestalotiopsis longiseta*

試験場名　一般社団法人日本植物防疫協会　　担当者氏名　日植防　太郎

1. 試 験 目 的（依 頼 事 項）　防除効果及び薬害の検討

2. 試 験 方 法　試験地場所　静岡県島田市金谷　現地農家圃場

対 象 病 害 虫 発 生 状 況　少発生（接種）

耕種概要（品種・施肥・一般管理・露地栽培か施設栽培（ビニルハウス・雨除け・トンネルなど）の区別・土壌性条件・試験期間中の薬剤防除を記載）

品種：やぶきた　樹齢：15 年生　土性：不明

施肥：N40 kg,P14 kg,K20 kg/10a（現地慣行に従った）

試験期間中の薬剤防除：なし

区制・面積・試験区の構成　1区　8.1 ㎡/区（4.5m×1.8m）　3 反復

1－Ⅰ	2－Ⅱ	3－Ⅲ
2－Ⅰ	3－Ⅱ	1－Ⅲ
3－Ⅰ	1－Ⅱ	2－Ⅲ

1. Aフロアブル
2. Bフロアブル
3. 無処理

Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは連制を示す。

処理年月日,量,方法,処理時の作物ステージおよび処理前後の降雨の影響

（処理年月日）2021年 6 月 25 日　（作物のステージ）二番茶摘採直後

（処理方法）　200L/10a 相当量を背負式電動噴霧器で散布した。

（処理前後の降雨）　散布日 6 月 25 日の早朝まで降雨があったが、散布時には乾いており、降雨による影響はなかった。

試験期間中の気象条件

月日	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3
平均気温(℃)	19.4	17.5	21.2	21.8	19.7	22.4	22.9	22.3	24.1	25.1	21.9	23	22.5	22.4	23	20.8
降水量(mm)	13.5	49	0	0	17.5	0	2.5	13.5	4.5	0	104	0	37.5	123	0	19
月日	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
平均気温(℃)	23.4	22.8	23.3	24.5	23	22.7	23.7	24.8	24.8	20.7	22.4	23	22.1	20.5	22.7	24
降水量(mm)	78.5	26	72	3.5	38.5	27	18	25.5	0.5	5	45.5	0	0.5	65	52.5	0

観測地点：アメダス菊川牧之原

調査月日・方法（月日、詳細な方法、指数等を用いた場合は指数分類・式、薬害の判断方法・時期を記載）

（調査月日）　薬効：7 月 19 日（散布 25 日後）

薬害：7 月 1 日（散布 7 日後）、7 月 8 日（散布 14 日後）

（調査方法）　薬効：各区試験区全体の病葉数を調査した。

薬害：葉を対象に肉眼により観察し、薬害症状の有無を以下の内容で評価した。

－：薬害を認めない　＋：軽微な薬害症状を認める　＋＋：中程度の薬害症状を認める　＋＋＋：重度の薬害症状を認める

その他（特記する事項があれば記載。接種または放虫した場合は、採集場所・時期・由来、月日、詳細な方法を記載）

接種は摘採直後（薬剤散布2時間前）に茶葉培地で培養、胞子形成させたチャ輪斑病菌 *Pestalotiopsis longiseta*（茶研センター保存菌株）の胞子懸濁液（1.0×10^4cells/ml）を、肩掛式電動噴霧器を用いて均一に 40ml/㎡噴霧接種した。

コメントの追加 [WU1]: 学名の表記方法について
以下アドレス内(http://www.jppa.or.jp/test/shiken.html)の学名リストに代表的な学名を記載しています。ご活用下さい。

コメントの追加 [WU2]: 土性の表記について
・壌土、砂壌土、砂土など。分からない場合は不明と記述。

コメントの追加 [WU3]: 試験期間中の防除薬剤（殺菌又は殺虫剤）について
・使用月日、薬剤名を記載。試験開始前であっても試験に影響があると考えられるものは記述する。使用していない場合は「なし」と記載する。

コメントの追加 [WU4]: 薬剤の防除効果は散布時の葉期によって大きく異なるので，1 回目散布時の葉期を記載する。
なお，葉期の数え方については，不完全葉を第一葉とする。

コメントの追加 [WU5]: 気象条件について
・処理 1 週間前から最終調査時までの気象表（平均気温，降水量）を記載する（表またはグラフによる表記も可）。
・2 回散布の場合には，1 回目散布の 1 週間前から最終調査時までの気象表（平均気温，降水量）を記載する。
・データの引用元を付記する。

コメントの追加 [WU6]: 調査月日・調査方法について
・薬効と薬害の調査日が異なる場合はそれぞれ記載。
・調査月日と方法の項目を分けずにまとめても可。
・薬害は、いつ、どの部位について観察したかわかるように記述する。グレードは適宜定めてよい。

コメントの追加 [WU7]: 特記事項、接種について
・接種した場合はここに記載。病原菌の由来や接種方法（接種量や箇所、薬剤処理との時間的関係）を記載

作物名

（ 2021 ）年 度 委 託　　（　チャ　）

対 象 病 害 虫 名・学 名　輪斑病　*Pestalotiopsis longiseta*　**試験場名**　一般社団法人日本植物防疫協会

3. 試 験 成 績

供試薬剤	希釈倍数	区制	発病葉数（枚/区）	発病葉数（枚/㎡）	防除価	薬害 7/1,8
3） Aフロアブル 新規化合物 20.0% Lot No. 9C96	600倍	Ⅰ	1	0.1		−
		Ⅱ	0	0		−
		Ⅲ	1	0.1		−
		平均	0.7	0.1	97.3	
対）Bフロアブル ○○○ 40%	700倍	Ⅰ	5	0.6		−
		Ⅱ	2	0.2		−
		Ⅲ	1	0.1		−
		平均	2.7	0.3	91.9	
無処理		Ⅰ	38	4.7		
		Ⅱ	26	3.2		
		Ⅲ	25	3.1		
		平均	29.7	3.7		

4. 考 察（判定した時期、判定記号を記載）

接種を実施したが、無処理区の発病葉数 3．7 枚/㎡と少発生下での試験であった。少発生を考慮して判定した。

3） A フロアブル　600 倍 散布　BAB－

本処理は、対照処理とほぼ同等の効果を示し、無処理と比較してまさる効果が認められた。実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。

コメントの追加 [WU8]: 試験成績について

・結果を表形式で記載。
・連制ごとまたは調査地点ごとに結果を表示し、合計値または平均値を表示する。
・評価に用いた数値（発病指数、発病率および防除価等）も記載する。
・薬害は調査時期がわかるように表記。
・2021 年度より表中の無処理区の薬害記号は記載不要となりました。

紙面のスペースによっては“後述”と記載し、表を末尾に記載しても可。

コメントの追加 [WU9]: 考察について

・実用性の判定は基本的に対無処理判定を重視する。対無処理判定と異なる判定とする際は、その理由を明記する。